

## アナログ回路技術の動向学ぶ

### 産技センターでフォーラム



民間企業の技術者ら100人が参加した

電子製品や電子機器の付加価値を高める「アナログ回路技術」の産業振興に力を入れている県と民間アナログ関連企業連絡

協議会は10日、群馬産業技術センター(前橋市亀里町)で「平成25年度群馬アナログフォーラム」を開いた。民間企業の技

術者ら約100人が参加し、最新動向を学ぶとともに、フォーラムに先立ち「アナログ検定」を実施。自分の立ち位置を知ろうと32人の研究者が受験した。

「産官学民連携によるアナログ技術分野の人材育成について」をテーマに講演した群馬大学理工学研究院の山越芳樹教授は午前中に行われたアナログ検定を振り返り、「昨年に比べると平均点が1・5倍くらいになり、

技術者のレベルが上がってきている」とする一方、「アナログ技術者には幅広い知識が求められるが、人材の育成は非常に難しい」と強調。

同大で文部科学省の支援を受け実施している「アナログナレッジ養成拠点」の概要などについて報告した。

このほか、会場ではロボットスーパードAYE(茨城県筑波市)の担当者や「航空宇宙分野におけるアナログ技術」をテーマにした講演などが行われ、参加者は熱心に聞き入っていた。

同大で文部科学省の支

援を受け実施している

「アナログナレッジ養成